



優勝旗二本獲得！ 地区夏季空手道大会

西崎中学校
校長 宮城 義隆



五月十七日(土)、県立武道館にて第三十五回島尻地区中学校空手道競技大会が開催されました。緊迫した空気が張り詰める中、我が西崎中から、島袋慶汰郎さん、玉城凜太郎さん、富山照永さん、宮部琉碧さん、野原大馳さん、島袋慶翔さん、今林梨々愛さんが出場し迫力のある演武を披露しました。その結果、男女共に総合優勝となり、優勝旗を獲得しました。主な成績は以下の通り、男子団体優勝(慶汰郎、凜太郎、照永)、三位(琉碧、大馳、慶翔)男子団体準優勝(慶汰郎、照永、慶翔)、個人型準優勝(慶汰郎)女子個人型3位、女子団体準優勝(梨々愛)出場した選手たちは、今大会の結果を喜びながらも県大会での更なる飛躍を誓っていました。

校長の独り言⑧

西中よ…このままでいいのか！

新年度がスタートして早、一か月半が過ぎた。登校時に笑顔で交わす爽やかな挨拶。授業中、先生の話や課題に集中して取り組んでいる真剣な眼差し。休み時間や給食時間に友と語りあう無邪気な笑顔。放課後、真剣にそして集中して取り組んでいる部活動。どの部分を切り取っても多くの生徒が、充実した学校生活を送っている。だがその一方で多くの問題行動が勃発している。いじめ、生徒間暴力、先生への暴言など、生徒の安心感を奪う厳しい問題が多発しているのだ。本当に残念、無念である。もちろん先生方はこれらの一つ一つの問題行動に対して、傷ついてしまった生徒の心のケアや、問題を起こしてしまった生徒に対する適切な指導等、真摯に対応している。このように先生方は、ことが起こった後に対処療法的な対応をしているが、それだけでいいのだろうか。未然に防ぐ方法はないのだろうか？私はあると思っている。その一つは生徒一人一人が規範意識を高め、級友や同級生の間違った行動に声を上げることだ。「それはやったらダメでしょ！」や「それはいくら何でもやりすぎでしょ！」このように誰かを傷つける行動に対してみんなで声掛けをするのである。これは簡単なことではないが、西中生なら絶対できると信じている。このような空気感が広がれば問題行動は激減するだろう。それが結果として、全校生徒の安心した学校生活に繋がっていくのだ…

生徒の皆さん、先生方と一丸になって、ワンランク上のより良い西中を創ろうではないか！！

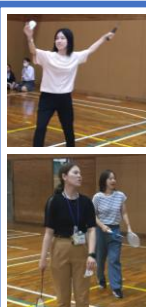
部活動巡り⑥ 美術部の巻



五月十九日(月)に美術部の部活動巡りを行いました。咲星先生は美術部員と缶バッチ作りを楽しみました。美術部の皆さん、アートフェスティバル、頑張ってください！



部活動巡り⑦ 男女バド部の巻



五月十三日(火)にバドミントン部の部活動巡りを行いました。倫先生、優香里先生ペアや若奈先生など、多くの先生方が試合を楽しみました。バドミントン部の皆さん、夏季大会では全力を尽くして頑張ってください！



すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして